

## MySQL 5.1.72 リリースノート（日本語翻訳）

### 修正されたバグ

- **InnoDB: row\_sel\_sec\_rec\_is\_for\_clust\_rec** 関数がセカンダリインデックスの NULL カラムプリフィックスとクラスタ化されたインデックスの非 NULL カラムの比較を間違っプリペアしていた (Bug #17312846)。
- **InnoDB: 削除マークの付いたレコードへの更新のロールバック時に間違っページが発生していた** (Bug #17302896)。
- **InnoDB: InnoDB** が名前に文字列「\_ibfk\_」を含むユーザ定義の外部キー制約の名前を変更し、制約が重複していた (Bug #17076737、Bug #69693、Bug #17076718、Bug #69707)。
- **InnoDB: BLOB** 書き込みの失敗後に **INSERT** をロールバックすると、表明違反になっていた。**BLOB** 書き込み時にエラーが発生した場合、NULL **BLOB** ポインタを許容するように表明が修正されている (Bug #16971045)。
- **InnoDB: サーバアクティビティを監視し、サーバが非アクティブまたはシャットダウン状態であるとページフラッシュなどのアクティビティを行う **srv\_master\_thread** バックグラウンドスレッドは、1 秒の遅延ループで実行される。**srv\_master\_thread** はスリープ状態に入る前に、サーバがシャットダウン状態であるかどうかチェックしていなかった** (Bug #13417564、Bug #63276)。
- **InnoDB: 圧縮のみのページを処理する場合、**buf\_page\_get\_gen** で無限ループが発生する可能性があった** (Bug #12560151、Bug #61132)。
- ストアドプログラム内で、スカラサブクエリの値と **IN** 句を比較したときに、最初の実行ではエラーになり、2 番目の実行では表明が発生していた (Bug #17029399)。

- `my_strtol110()` 関数が一部の長い文字列形式の数字を数値に間違っ  
て変換し、オーバーフローフラグを設定できない可能性があった (Bug  
#16997513)。
- サブクエリ内で `INFORMATION_SCHEMA` テーブルにアクセスするクエリ  
で、すでにロックされているミューテックスをロックしようとする  
と、サーバがクラッシュする可能性があった (Bug #11765744)。

[DIV](#) 式において、結果を複数の変数に割り当てると、サーバがクラッ  
シュする可能性があった (Bug #59241、Bug #11766191)。

参考: Bug # 8457 も参照。

- `mysqldump` が `SET` ステートメントを `SET OPTION` として書き込んでい  
た。廃止された `OPTION` キーワードは `SET` 構文から削除されているため、  
再ロードすると失敗していた (Bug #67507、Bug #15844882)。
- 1 つの接続でデフォルトのデータベースを変更すると同時に、もう 1 つ別  
の接続で `SHOW PROCESSLIST` を実行した場合、2 番目の接続で最初  
の接続のデフォルトのデータベースを表示しようすると、不正なメモリ  
にアクセスする可能性があった (Bug #58198、Bug #11765252)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有す  
る英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英  
語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任  
はありません。